

宇都宮市民憲章

- 1 健康で、心のふれあう明る
いまちをつくります。
- 2 きまりを守り、活気あふれる
楽しいまちをつくります。
- 3 学ぶことを大切にし、文化の薫
る美しいまちをつくります。



編集・発行 宇都宮市立図書館 明保野町7番57号 〒320 TEL 36-0231

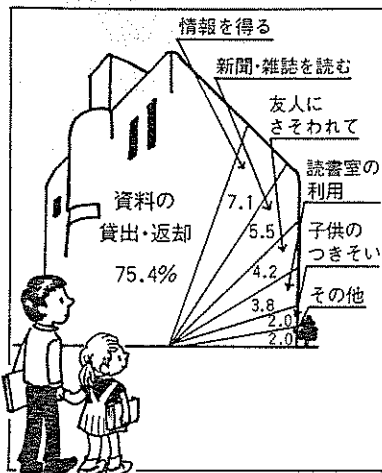
読書は新しい発見の旅

読書の秋を図書館で

10月27日から11月9日まで、読書週間です。秋の夜長に、読書を楽しむ人は多いことでしょう。

読書週間は、大正十三年に図書館と出版界の協力で始まり、図書館週間、図書祭として続けられました。戦争期に一時中断しましたが、その後復活し、昭和二十四年に現在の形となり、春の「こどもの読書週間」も加わって読書推進運動の要となっています。

左の図は、市立図書館に来る目的の利用者にアンケートしたものです。資料の貸出・返却のためというのが断然多くなっていますね。

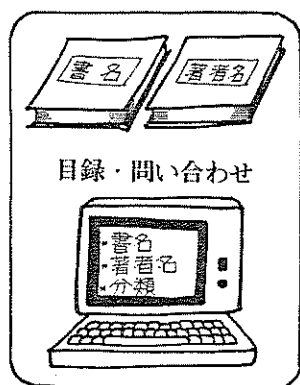


あなたが図書館に来る目的は？

できる限りたくさん資料を提供することは、図書館の基本的な仕事のひとつですが、図書館は本やレコードを貸し出しているだけではありません。

読みたい本がなくて、困ったことはありませんか？どの本を調べたらいいのか、迷ったことはありませんか？図書館を使いこなすために、知っている便利なことがいくつかあります。

読書週間に向けて、本に親しむと同時に、図書館にもっと親しんでいただくために、利用の秘訣をご紹介します。



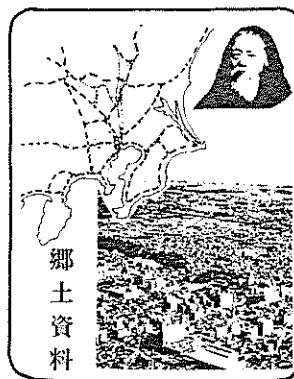
目録・問い合わせ



調査相談



予約・リクエスト



郷土資料

〈目録・問い合わせ〉

図書館の本は、「書名目録」「著者名目録」でみる事ができます。貸出中かどうか知りたいとき、新刊書について知りたいとき、特定の分野について調べたいときなどは、コンピューターで検索しています。

〈予約・リクエスト〉

読みたい本がみつからないときは、予約カードに書いてください。貸出中の本は、返ったら電話でお知らせします。図書館にない本は、選定して購入したり、他図書館から借りたりしてお届けします。各カウンターでお尋ねください。

〈調査相談〉

日常の暮らしや仕事上の疑問や質問にお答えし、資料を提供しています。辞典、図鑑、年鑑などは自由に閲覧もできます。相談は電話ですることもできます。市立図書館 36-0231 へどうぞ。

〈郷土資料コーナー〉

宇都宮の歴史、地理、行政等の資料のほか、県内の資料もあります。

参考資料と郷土資料は貸出ししないものもありますが、コピーできます（有料）。

3階カウンターへお尋ね下さい。（2面へ続きます）

身近な図書館を めざして

図書館を利用したいけれど、遠くてなかなか来られないという声がよく聞かれます。市立図書館にはまだ分館がないので、すべての市民の方に都合よくというわけにいきません。でも、図書館に來なくても、利用する方法があります。

〈館外で本を借りる〉

そのひとつが移動図書館です。「さつき1号・2号」の2台が約二千五百冊の本を積載し、市内56か所のステーションを回っています。

また、巡回文庫が32の公民館、分館で利用できます。

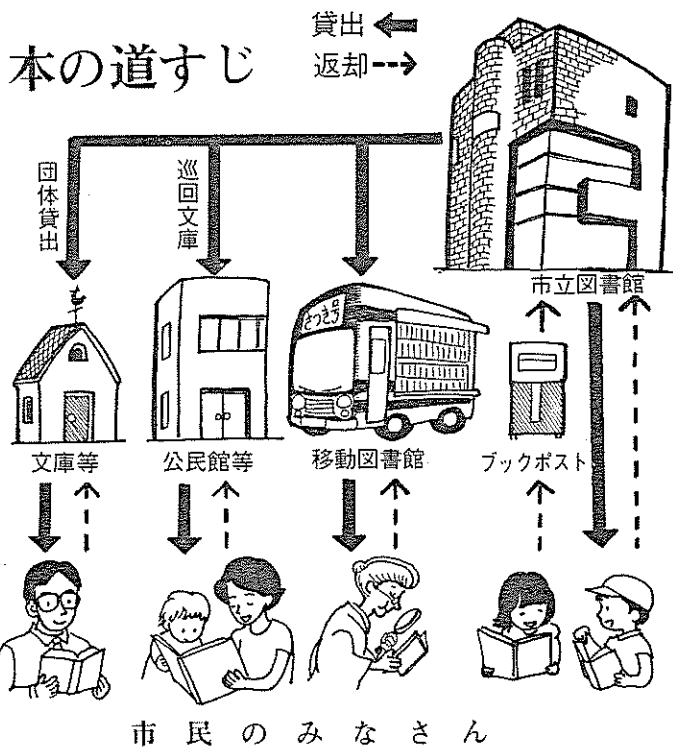
さらに、地域文庫や家庭文庫等の団体に団体貸出を行っているので、そこで図書館の本をみることもできます。(詳しくは下段の一口メモをご覧ください。)

〈本を返すには〉

本を借りたけれど、期限が来ても忙しくて図書館に行けない。こんな時のために、市役所・中部公民館・駅東公民館にブックポスト

があります。移動図書館に返却することもできます。

これらは、すでにたくさんの方に利用していただいています。が、もう一度見回してみませんか。近くに便利な施設が見つかるかもしれ



れません。

〈読書は新しい発見の旅〉

これは、今年の読書週間の標語です。日常生活から解き放たれた時、未知の領域に足を向けてみる。読書は旅に似た一面を持っています。

読書への旅の起点に立ち、案内人となることを図書館は望んでいます。たくさんの方の旅の入口から、多くの人が本の世界に旅立つてほしいと考えているのです。

郷土の随筆作家、志賀かう子氏を招き、九月十一日(日)ずいひつ講座を実施しました。テーマは、今年日本エッセイ

ストクラブ賞を

受賞された「祖母

母、わたしの明

治」です。講演

の中で、「祖母、

わたしの明治

の内容では触れ

られていない、

附属中学校時代の

の多感な少女期、

家庭環境のさ

みしさをいやす

ものとして、文

学に埋没していく

ようすや、祖

母

母

母

母

母

母

忘れものに注意!

最近、忘れものが目立ちます。席を立つ前に、もう一度身の回りを確かめてください。

忘れものはありませんか?

三階の事務室にはほとんど毎日と言っていいくらい、おとし物、忘れ物がとどけられています。連絡のつくものはいいいのですが、そうでないものは図書館でも処理に困ってしまいます。

物を大切にすることを心がけてください。忘れものの防止につながります。

図書館で、そういうことも学んでいってください。

志賀かう子氏



母から吸収した言葉の潔癖さなどを話されました。佐藤春夫、吉野秀雄、北原白秋の作品を引用して、「ずいひつ」とは自分でなくては著せないもの、書けないものであると強調し、最後に、斎藤茂吉の「曼珠沙華」を朗読して、その

中の「陽の光が地にしみ込むように静かになっていく……」という表現を指摘して、結びとされました。

団体貸出

地域文庫、家庭文庫を運営している方、また読書会や研究会などのサークル、教育団体や保育園、各種地域団体の方で、本をまとめて借りたいとお考えの方はいらつしやいませんか。図書館では、このような団体を対象に一〇〇冊以内の本を二か月までお貸しする団体貸出を行っています。現在一二の団体に利用していただいています。

これから貸出を希望する方、どうぞお気軽にお申し出ください。

文庫めぐり ③

大平文庫 I・C・C文庫

地域の中における

文庫活動

司会 こんにちは。さっそくですが、文庫の発足の動機、特徴は？

鈴木 大平文庫は、大平フクさんから七百冊の寄贈を受け発足しました。その後は育成会活動の一環として運営しています。

山田 I・C・C文庫は、泉が丘コミュニティ推進協議会の事業として、市の援助を受けて発足しました。文庫に集まるお母さん達の話を通して、地域の問題を考えています。

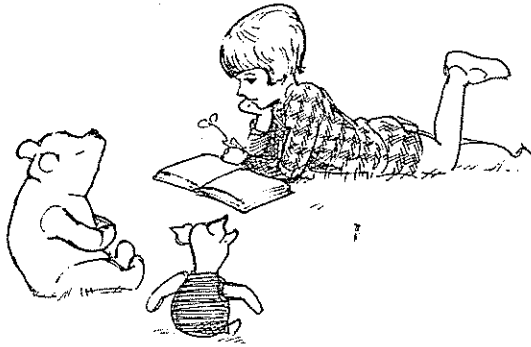
司会 文庫活動での問題点は？

鈴木 育成会の行事と、開庫日時が重なることが多いことですね。例



鈴木さん

えば、旅行とか廃品回収です。そ



れと、役員は一年で交代になってしまふので、引継ぎも事務的なものだけで終ってしまうことです。

山田 一年で終りなんですか。

鈴木 ええ。ですから、勉強会に参加して、他の文庫の活動で参考

になる点があっても、なかなか実現に到らないんです。

山田 例え、ソフトボールの指導者は、何年間か代わりませんよ



山田さん

ね。そんな感覚で、育成会の部会として文庫があるといいですね。

司会 責任者が決まれば、宇子本連とも密接になり、本や情報の交換もできます。

鈴木 そうですか。最も望ましい文庫のあり方も、皆さんと考えていきたいと思っています。

司会 頑張ってください。

山田 私たちは、開庫日が小学校のクラブ活動の日と重なってしまふ為、利用者が小学校低学年、幼稚園児に限られてしまふのが悩みですね。

鈴木 変更の予定は？

山田 より多くの利用を図る為、来年からは、小学校の時間割等を考慮して、変更する予定です。

鈴木 利用できる小学生は？

山田 泉が丘小が中心ですが、御幸小、今泉小の児童さんにも開放しています。

司会 ところで、会費は？

山田 一世帯百円です。本の装備

二文庫の紹介

○大平文庫

発足 昭和五十年十月

文庫所在地 大塚町集会所

代表者 山口東洋

(TEL 45-3010)

会員 大塚町在住の小学生

開庫日時 第一、第三日曜日

午前十時～十一時

○I・C・C文庫

発足 昭和五十八年一月

文庫所在地 泉が丘コミュニティセンター内

代表者 山田雅子

(TEL 62-0017)

会員 七十世帯 二百三十人

開庫日時 木曜日

午後二時～四時

※文庫についてのお問い合わせは、代表者に御連絡ください。

新刊書の購入に充てています。

鈴木 会費は徴収していません。蔵書も増えないのですが、何か良い方法はありませんか。

山田 市立図書館の団体貸出は受けていらつしやいますか。

鈴木 いいえ。そんな方法があつたんですか。

司会 登録すれば、一回に百冊まで、三ヶ月間借りられます。

鈴木 よかった。さっそく皆さんと借りに来たいと思います。

司会 大いに利用してください。

今後、地域の特色を生かした魅力ある文庫活動に期待します。きようは、ありがとうございました。

出席者

鈴木紀子(大平文庫、文庫担当)

山田雅子(I・C・C文庫、代表)

目録箱

問 雑誌を増やしてください。

答 市販のものだけでも三千種以上あるという雑誌の中から、片寄らないように選定して約三百種を購入しています。特に婦人雑誌やコンピュータ関係の雑誌はいつも貸出中という状態ですが、これ以上増やすわけにはいきません。

雑誌はなるべく変更せず、継続して購入するようにしています。リクエストは年度末(3月)に検討させていただきます。

児童文学の創作教室

今年度もまた、「児童文学の創作教室」を次のように行ないます。奮って御参加ください。

日時 11月20日(日)

午後1時30分～3時30分

講師 清水達朗氏(東京新聞論説委員・児童文学担当)

受付 11月9日(水)から

定員になり次第締切ります。

子どもの本を考える講座

十一月六日午後一時

二十分、児童文学者の加古里子氏を講師にむかえ、講座を開催します。演題は「子どもの科学の本」です。「科学に弱い」というお母さん方、どうぞお楽しみに。

受付は十月二十六日からです。

16ミリ映写機技術者講習会

日時 10月29日(土)・30日(日)

場所 市立図書館三階集会室

対象 市内に住む方で、証明書取得後は16ミリ映写ボランティアとして活動してくださる方。

定員 30名。応募者多数のときは

選考させていただきます。
受付 10月5日(水)～15日(土)

直接、視聴覚ライブラリーへ。

落語会

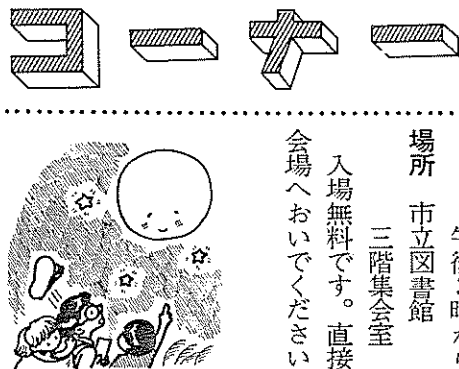
おなじみになりましたのんき亭喜楽一門会による落語会。今回は第8回です。

日時 10月22日(土)

午後3時から

場所 市立図書館三階集会室

入場無料です。直接会場へおいでください。



日館長 たれかな?

たくさんさんの作文、ありがとうございます。おかげさまで、181点の作文が集まりました。(低学年44、中学年56、高学年60、中学校21)。ユニークなもの、心にジーンとくるものがたくさんあり、審査員は頭をかかえています。発表は10月26日広報うつのみやで!!

貸出状況

	58年8月	58年度累計 58/4～58/8
登録者数	2,320人	67,149人
貸出人数	館内	24,989
	視聴覚	2,559
	館外	3,212
計	30,760	126,058
貸出冊数	館内	71,308冊
	視聴覚	5,292
	館外	13,174
計	89,774	388,411

8月の	館内	1日あたり	館外	1ステーションあたり
貸出人数	1,102人		58人	
貸出冊数	3,064冊		240冊	

利用案内

開館時間

午前9時30分～午後7時
ただし、児童図書室は
午前9時30分～午後5時

休館日

毎週月曜日
国民の祝日
図書整理日(毎月初日または翌日)

貸出は

一人5冊(レコード・テープを含む)。2週間以内

コピーサービス

図書館では、コピーのサービスもやっております。お気軽にご利用ください。ただし、図書館資料に限ります。一枚20円です。

10月の休館日

日	月	火	水	木	金	土
			①	2	3	4
5	6	7	8	9	⑩	⑪
12	13	14	15	16	⑬	⑭
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

11月の休館日

日	月	火	水	木	金	土
			①	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	⑭	15	16	17	18
19	20	⑲	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	

ボランティア製作

あたらしい本

テープ図書
▽宮本武蔵三・四(須藤秀代)▽ソロモンの指環(中神さとみ)▽夢の壁(木村あい)▽孤高の人(間康子)▽ドリトル先生の楽しい家(安喰とみ子)▽たまゆら(丸山行江)▽桃太郎の誕生(船越郁)▽交通公社の海外ガイド・ギリシャ(渡辺美晴)▽密月▽怒りの標的▽短歌への出発(以上 藤田東子)

点字図書

▽小さなスプーンおばさん(岩下節子)▽リコはおかあさん(江部順子)▽言葉あそびうた(倉井道子)▽栃木のむかし話・全2巻(増淵清美)▽やさしいびんぼう神(水島久美子)

寄贈

寄贈図書を紹介いたします。

藤岡留吉「石原宗爾全集」佐藤次雄「夏目漱石全集」栃木県立博物館「ところ変われば虫変わる」「脊椎動物の進化をさぐる」「栃木の名宝展」菊地親子「点字本・クリステイ短編集」その他多数。